

令和 2 年度 学校経営環境分析書

片山中学校区 校番 17 学校名 呉市立荘山田小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>【国】 ① 育成を目指す資質・能力が新学習指導要領に示されている。</p> <p>【県】 ② 「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」に向けての取組が各地域・各校で推進されている。</p> <p>【市】 ③ 小中一貫教育が全市的に定着し、研究推進の方向性ができている。 ④ 「郷土を愛する心豊かでたくましい児童生徒の育成」を目指し、生徒・学校・地域が一体となった教育活動を推進している。</p> <p>【地域】 ⑤ 学校に協力的な地域住民が多い。</p>	<p>S (強み)</p> <p>【学校】 ① 中規模校であるため集団生活を通して学ぶ機会があるとともに、指導の目も届きやすい。 ② 学習規律・生活規律を徹底する、校長を中心とした組織的な指導体制が確立されている。 ③ 6年生がリーダーとして活躍できる場がある。</p> <p>【児童】 ④ 標準学力調査において全国平均よりやや上回る学力がついている。 ⑤ くつそろえやトイレのスリッパそろえ、無言掃除等、決められたことを守る等、規範意識が高まっている。 ⑥ 陸上記録会での入賞者が多い。</p> <p>【家庭】 ⑦ 学校に協力的な保護者が多い。</p> <p>【地域】 ⑧ 地域と密な連携が図られ、理解・支援を得ることができる。</p>	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資質・能力の育成を目指す 小中一貫教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業及び指導方法の改善を推進 (O①③,S①) ○ 学び合いの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力の分析による授業改善 (O②,S①②) ○ 小中・地域の協働活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と一体となった教育活動の推進 (O④⑤,S③⑤⑦⑧) ・ 校内ボランティア活動の活性化(S③⑤)
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>【学校】 ① トイレや教室等、施設の老朽化が進んでいる。 ② 運動場が狭いことや多目的に使える教室がない等、児童数に対して十分な広さの学習・生活スペースが確保されていない。</p> <p>【地域】 ③ 交通量の多い道路や坂道があり、交通事故の危険性が高い。 ④ 山沿いに民家が広がり、大雨時に川の水があふれやすい等、土砂災害による被害の危険性がある。</p>	<p>W (弱み)</p> <p>【児童】 ① 学力面や体力面に課題がある児童がおり、個別の支援を要する。 ② 言葉遣いやゲームによるトラブルが課題である。 ③ 適切な状況判断ができにくい。</p> <p>【家庭】 ④ 一部、基本的生活習慣を整えるための協力を得にくかったり、学校教育に無関心だったりする家庭がある。</p>		<p>学力向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積み上げタイムや放課後学習会における個の課題に応じた指導の工夫 (W①) <p>○ 積極的な生徒指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PDCA サイクルを機能させた生活目標の実現 (T③W②④) ・ 保護者啓発を含む SNS の授業参観の実施 (W②④) <p>○ 安全・健康教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活リズムカードを活用し家庭との連携による基本的生活習慣の確立 (W④) ・ 走を取り込んだサーキット運動の取組(W①) ・ 交通安全教室の実施や防災教育の充実 (T③④W③)

2 重点課題

- ① 身に付けた知識や技能を活用したり、自分の考えを論理的に表現したりする力を伸ばす。
- ② 規範意識が低い児童や学力面に課題がある児童がおり、個別の支援が必要である。
- ③ 走力が県平均以下であり、指導の工夫が必要である。

弱みを克服し、阻害的要因を回避する解決策は